

生産方式革新実施計画の概要

【加藤 省吾】

2026年5月21日認定

ロボットトラクターの活用により労働生産性を向上させるとともに、
作業効率・精度を向上する均平化で収益性アップ

申請者：

加藤 省吾（愛知県刈谷市）

対象品目：

水稲、小麦、大豆

スマート農業技術：

ロボットトラクター

新たな生産方式：

レーザーレベラーによるほ場の均平化を通じた
直進等の精度向上

加藤 省吾

労働生産性の向上

耕起、播種等の精度と効率の向上

ロボットトラクター



ほ場の均平化



作業精度・効率の向上

労働生産性の向上効果の増大